

地域自治の実現及び協働によるまちづくり パートナーシップ協定 調印式

令和6年2月25日（日）



LOVE SAIJO
Action! SDGs
いっしょにやろや ちよとずつ

LOVE SAIJO
Action! SDGs
いっしょにやろや ちよとずつ

多賀校区

令和6年3月9日 多賀を守り育てる会

多賀地区の位置や概況

R5.10.31現在



人口	5,410人
世帯数	2,786世帯
小学校児童数	267人 (R5.5.1現在)
老年人口比率	26.3%
単位自治会数	25自治会

目次

01

取り組みを始めたきっかけ

02

準備会で実現できた取り組み

03

そうは言っても苦労したことは多いんです

04

多賀を守り育てる会が目指すもの

01 取り組みを始めたきっかけ

ちなみに一色会長ではありません（笑）
多賀の幼稚園長です

令和元年8月のタウンミーティング
『**地域づくりと世代間交流**』をテーマに
市長と意見交換



会の最後に、
当時の連合自治会長 一色和成さんから

**「これからの多賀には地域づくりが必要だと思
うので、是非取り組んでいきたい！！」**

令和元年9月に
高崎大学の櫻井先生を公民館に迎え

民生児童委員、婦人会、社会福祉協議会などの
各種団体の現状や今後の進め方について意見交換



02 準備会で実現できた取り組み

【実現した3つのこと】

連携

多様な団体
や個人との
連携促進

負担軽減

事業を統合す
ることによる
負担軽減

方向性

ロードマップを作
成することにより
方向性を決定

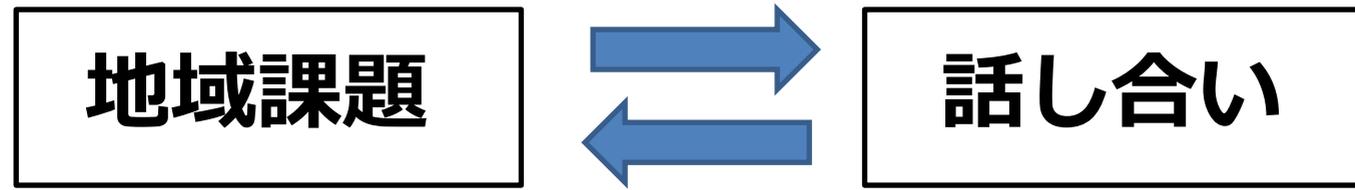
【コアメンバーの中で口すっぱく話していたこと】

何をするか、どういう活動をするかではなく・・・

何のためにその事業をするのか？取り組む事業の目的は何なのか？

事業活動までにどういった人に参加してもらい、どのように進めたらいいのか？

02 準備会で実現できた取り組み ~§1 多様な団体や個人との連携~



「役員会と全体会をヘビーローテーションで開催」 (徹底した話し合い)



祭会や地元事業者、東予東中学校生徒会など
多様な世代・団体が集まり、「地域の課題は何なのか？」を考える！！



【効果として】

- ①他の団体の活動内容や個人の考えを知ることができた！
- ②団体（愛護班）の負担軽減を考えるきっかけとなった！
- ③準備会の仲間が増えた！



02 準備会で実現できた取り組み ~§2事業の統合による負担軽減~

パターン1

「たがっ子フェスティバル」 (多賀全体の**愛護班**が担当)

+

「地域の盆踊りとバザーの開催」 (三津屋地区の**自治会**と**愛護班**が担当)

||

「たがっ子フェスティバル・多賀ぼんおどり」
(R5.8月に多賀全体の事業としてスタート)



パターン2

「愛護班クリスマス会」 (多賀全体の**愛護班**が担当)

+

「子ども教室クリスマス会」 (**公民館**が担当)

+

「新田子供会クリスマス会」 (北条新田地区の**愛護班**が**関与**)

||

「多賀地区合同クリスマス会」

(R5.12月に多賀全体の事業としてスタート) 多賀を守り育てる会

集約することで沢山のこども
の参加と負担の分散化!



02 準備会で実現できた取り組み

～§3 多賀独自のロードマップを作成～

【作成までのプロセス】

R3.10 櫻井先生と4名のコアメンバーで打ち合わせ

R3.10 『多賀・未来づくり準備会』設立

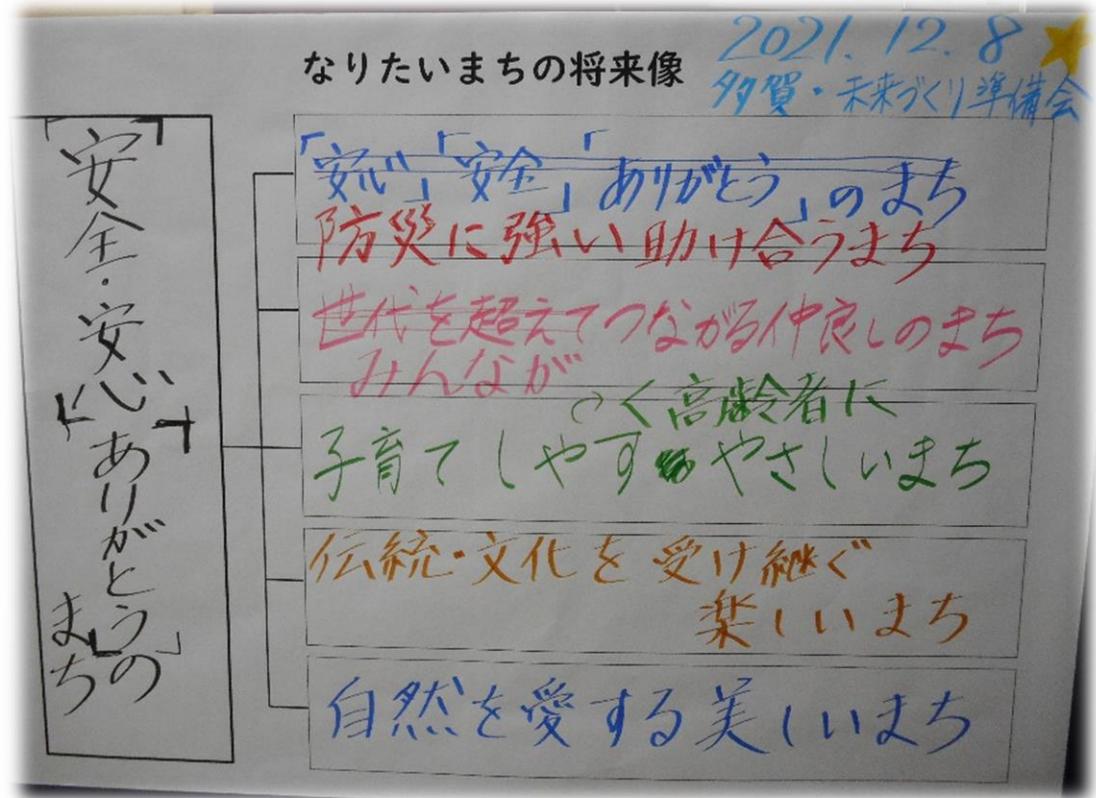


R3.11 『多賀地区ロードマップ』作成に向けた話し合いの開始

(先生コメント)

『何のための組織なのか、しっかりしたビジョンづくり、理念を考える!』

『地域自治組織を作るまでのプロセスが地域の求心力を育む!』



【キャッチコピーと
目指す将来像の叩き台】

R4.2 末 コロナ禍によりアンケート調査票を全戸配布 (2900枚)

あなたの声をお聞かせください

多賀・未来づくり準備会では、多賀地区の目指す将来像として5つの「なりたいまち」を考えました。皆さまは多賀地区の現状や課題（困りごと）として何が思い浮かびますか？

日頃、生活している中で感じていることやコロナ禍で所属する団体の困りごとなどがありましたら、下のアンケート用紙、又は右のQRコードから、あなたの声をお聞かせください！！

回答期日：**令和4年3月15日（火）までに**
多賀公民館のアンケートボックスに入れてください。

問合せ先：多賀公民館（越智・森川）
 ☎ 0898-64-2083
 ✉ taga-k@sajo-city.jp

5. 「みんながつながる仲良しのまち」について
 (1) 地域の人と1日どのくらいあいさつしていますか？



*西条市総合計画・後期基本計画より抜粋

「ありがとう」のまち

- 子育てしやすく高齢者にやさしいまち
- 伝統・文化を受け継ぐ美しいまち
- 自然を愛する美しいまち

Q3：準備会でこれから取り組むことは？

皆さまからのアンケート結果を基に課題を洗い出し、課題解決に向けてどういった体制（組織）で取り組み、いつまでに、どのようにして解決を図るのかを示したロードマップ（行程表）を作成し、地域の未来ビジョンを提案します。

また、準備会でよく話題にあがるのが「防災への取り組み」です。「東海地震」「東南海・南海地震」の3つの地震が連動して発生することも想定されています。準備会として、住民の防災意識を高めるためにはどうすればいいのかを検討していきます。

一色和成 多賀・未来づくり準備会長のつぶやき

新型コロナウイルスが国内に広がって2年が経過しました。ウイルスは人の大事な命を奪っただけでなく、当たり前でできていた私たちの生活を一変させました。それは、人と人のつながりを分断したこと。「会いたい人に会えない」「みんなで集まって楽しい時間を過ごせない」みんなが感じていることだと思います。

地域の課題解決に立ち上がった準備会ですが、ウイルスの存在は「真に助けを求めている人の声さえも分断していないか」といった気付きを与えてくれました。その気付きに答える第一歩として、今回のアンケートを全世界帯に実施した次第です。

私たちが目指す地域づくりとは、誰一人取り残さないこと、そして、これからの将来を担う子供たちが、大人になってもこの多賀で笑顔で過ごせる地域を作ることです。



【中学生も大人に交じり真剣に議論】



【グループで出た意見をホワイトボードに】

R4.4 アンケート結果をもとに全体会でロードマップ着手

R5.4 多賀地区ロードマップの完成 ・ ・ 打ち上げを兼ねた交流会

R5.11 ロードマップの課題の中から取り組む

課題：「隣近所とコミュニケーションが取れていない」
 ↓
 「誰もあいさつをしていない」

課題に対するアクション：「交通安全の日の登校時に、
子どもの見守りを兼ねてあいさつ運動をしよう!」

R6.3 現在 (R5.11月1日から毎月20日に地域を巻きこみスタート)



多賀地区ロードマップ

多賀地区 なりたいまちの将来像 多賀・未来づくり準備会ロードマップ



「安全・安心」「ありがとう」のまち

03 そうは言っても苦勞したことは多いんです

01

温度感

- ・ 地域住民の当事者意識（自分事として捉えること）の欠如
- ・ 各団体に持ち帰ったあとの反応の低さ



02

コーディネート

- ・ それぞれの置かれた立場で見方が違う
- ・ 各種団体の調整やすり合わせが大変

03

地域性

- ・ 3地区（三津屋・北条・北条新田）で自治会の仕組みが異なる
- ・ 地域の違いを理解するのに時間がかかった

04

話し合い

- ・ 継続した話し合いの難しさ（コロナ禍）
- ・ グループワークのマンネリ化

多賀を守り育てる会（地域自治組織）の設立（令和6年2月25日）



04 多賀を守り育てる会が目指すこと

1 顔の見える関係性を築くこと

2 誰一人取り残さない地域づくりを進めること

3 無理のない範囲で、できることから楽しく取り組むこと

顔の見える関係性

- 多様な世代が集まれる環境（場所）をつくる
- 話し合いの文化を根付かせる
- 頑張っている人や団体を称える

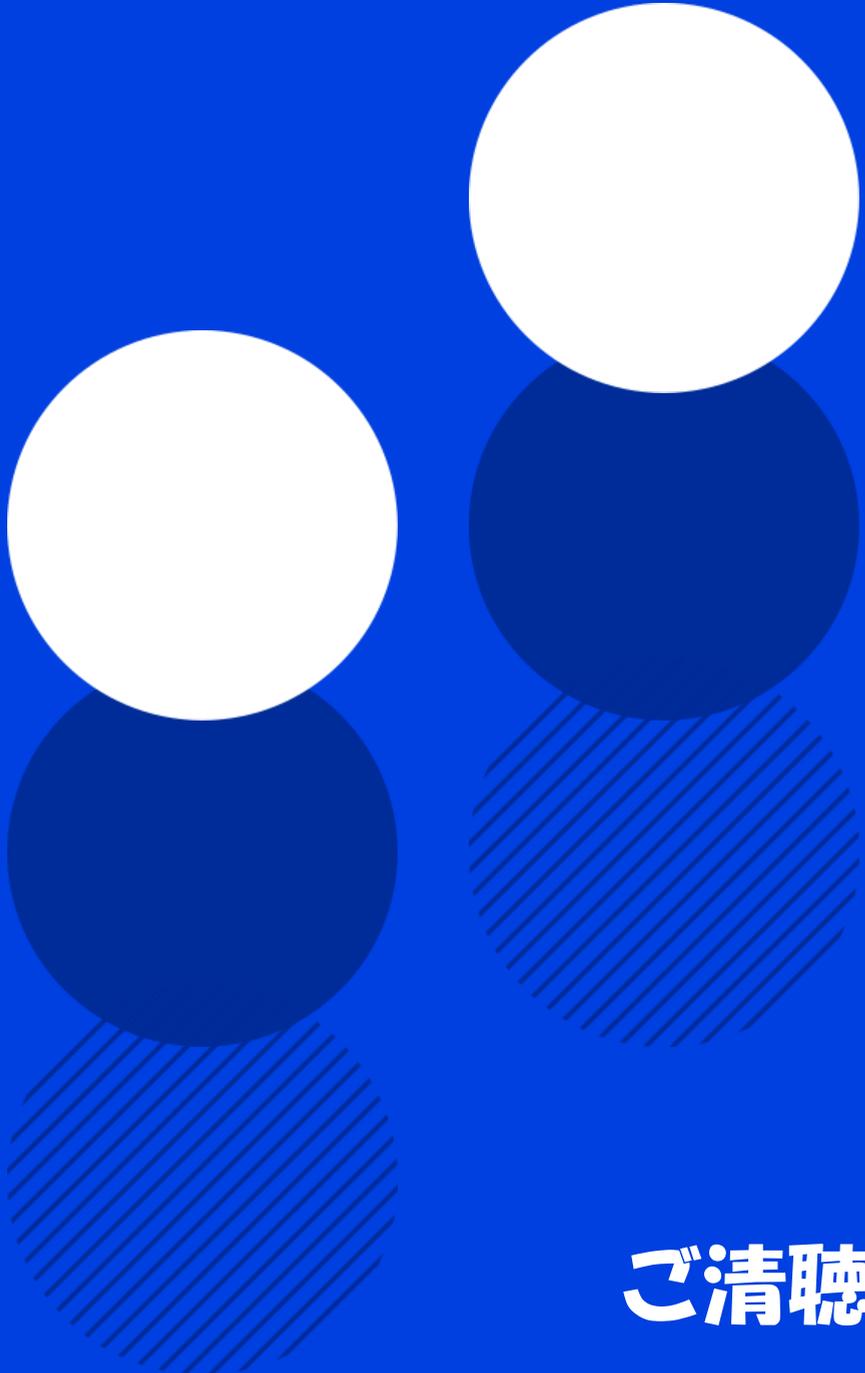
取り残さない

- 地域の課題やニーズはどこにあるのかをキャッチ
- 各種団体の大変なところを補完
- 赤ちゃんからお年寄りまで一緒に参加できる地域づくり

無理のない範囲で

- 楽しく明るくをモットーに活動
- トライ＆エラー＆振り返りを繰り返す
- 気軽に参加できるよう促そう

地域づくりは、マラソンです(笑)・・



でも・・私たちの次の世代に
将来を担う子供たちに

「住みよいまち」でバトンを渡したい
のです

地域自治組織はできましたが
ここからがスタート!
多賀独自の地域づくりを目指します

ご清聴、ありがとうございました！！